

第47号

令和3年3月31日 発行

発行者 山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会
事務局 山梨県甲府市川田町506
県立青少年センター別館内
TEL 055-226-0924
FAX 055-226-0925

山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会

コロナ禍のなかでの引継ぎ



山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会
会長 山田 弘之

今年度は、コロナ禍により総会が開催出来ない状況の中で、平成25年より永年にわたり会長を続けて頂きました、小林前会長からご推薦を頂き、書面開催の総会によりご承認を頂き県子連会長を6月より引き継ぎさせて頂きました山田弘之と申します。

諸般の事情で甲府市子連会長との兼任でお受けしました、両立出来るか不安なスタートでしたが、出来る限り精一杯頑張らせて頂きますので宜しくお願いいたします。それには、是非とも各市町村の役員の方々のご協力がないと各行事や会議の開催が出来ないと思っておりますので、重ねて宜しくお願いいたします。

今年度は、コロナ禍の状況で総会をはじめ東京県人会の子ども達との交流キャンプ『ランドカーニバル』、市町村代表の球技大会、KYT（危険予知トレーニング）を中心とした指導者研修会の開催や山梨県子連も4年後に当番地区に成る、関プロ育成新潟大会と全国育成北海道大会等の他県との研究大会の全てが延期に成りまた、県子連主催事業のドッチボール大会もやむを得ず中止となりました。

来年度は、コロナワクチンの接種や自粛の感染抑えこみ状況でコロナ感染が収束して、通常の育成活動の開催が出来る事をお祈りしたいと思います。



小林博夫 前会長



金田克比古 前事務局長

令和2年度 山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会会長表彰

新田地区子どもクラブ
望月正人(甲府市)

甲運地区子どもクラブ
家入俊一郎(甲府市)



KYT研修会

- 期 日：令和3年2月14日(日)
- 参加者：甲斐市ジュニアリーダー

- 会 場：甲斐市竜王北部公民館
- 講 師：小 尾 勝 彦



各市町村子どもクラブ指導者連絡協議会から

甲府市

甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会は、地域社会における児童生徒の生活指導について研究し、広い教養と専門知識を養成することを目的に、昭和29年に発足しました。

甲府市から委嘱を受けた150名の主任指導者が、指導者の発掘養成に努め、子どもクラブの活動を促進するための活動を行っており、主任指導者と指導者の知識及び技術の向上を図る目的で、主任指導者講習会や指導者講習会を開催し資質の向上と情報交流が図られております。

毎年、信玄公祭り子ども武者行列や、子どもの日には愛宕山子どもの国フェスティバルの参加、夏休みのふるさと子どもランドカーニバル、球技大会やキャンプ研修、甲府大好き祭りの参加など数多くのイベントに参加するとともに、全国子ども会育成中央会議や関東甲信越静地区大会などの会議に出席し関係団体への連携強化に努めています。

また、上部組織である山梨県子どもクラブ指導者

連絡協議会には、毎年多くの役員を輩出しており、役員は地区での活動を行う傍ら、市と県の子どものクラブの会長や役員を併任することで、大きな負担の中で活動を行っております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、甲府市子どもクラブとしての事業は開催できませんでしたが、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら夏休みのラジオ体操やキャンプ、清掃活動など各地区ができる範囲内で、できる活動を行い、長く続く子どもクラブの活動の火を消さないため子どもクラブの会員の皆様が頑張っていただいております。

これからも子どもたちの成長の場として、皆様と一丸となり子どもクラブを発展させていきましょう。アフターコロナでは、私たちの生活が激変することが予想されておりますが、その中でも子どもたちの居場所をまもるため、甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会では、地区と山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会と連携を深めてまいります。



甲斐市

甲斐市は16年前に竜王・敷島・双葉の3町が合併してできました。子どもクラブの活動は、主に旧町単位で独自性の高い内容で実施しています。

今年は思うように活動が出来ませんでしたが、過去に各地区で行なった活動の一例を紹介します。

竜王地区では、毎回テーマを変えた研修を行っており、令和元年は「食」をテーマにして、寿司職人を招いて、丸々1匹の鮭をさばく過程を見学したり、職人の指導のもとでちらしずしを作ったりしました。



敷島地区では、年に二回ジュニアリーダーを対象にした研修会を行っており、レクリエーションや関所ハイクを行なっています。関所ハイクは、オリエンテーションの一種ですが、地域の歴史や文化を知ることが出来る場所をチェックポイントにしています。体を動かしながら地域を学ぶことが出来る事業です。



双葉地区では、福祉施設を訪問して折り紙の折り方や紙芝居を披露したりして、地域のお年寄りとの

交流を深める活動をおこなっています。また公民館まつりでは、ゼリーの出店をし、売上金を寄付するなど、社会貢献活動が多いのが特徴です。



このように各地区で、地域の特色を活かした事業を展開しています。これに対して、甲斐市子連では市内の全地域を対象にした事業を行っており、ともすればバラバラになりがちな市内の子どもクラブ・育成会同士を交流させる役割を担っています。代表的な事業は、ジュニアリーダーを対象にした交流研修会で、会場を一定のサイクルで変更しながら実施しています。会場を固定にすると指導者は楽ですが、プログラムが固定化してしまい、子どもたちに対して多様な体験を提供しにくくなってしまふとの観点から、会場を変更しながら、その会場の特性に合ったプログラムを実施しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で思うように活動が出来ませんでしたが、子どもたちにとって体験活動は無くてはならないものと私たちは確信しています。令和3年度は新しい生活様式に対応した活動を展開し、子どもたちの体験活動の場を取り戻していきたいと思っています。



中央市

第1回「はじめてのキャンプ」北都留郡丹波山村



令和元年8月7日、8日快晴のもと、一泊二日でジュニア・リーダー会が発足してから初めてのキャンプを実施しました。計画当初はスタッフが何回か集まり、入念な準備をして当日を迎えました。参加した児童・生徒は当日、大きな荷物を抱え、とても楽しそうな表情で迎えのバスに乗り込みました。

参加した児童・生徒は23名、引率責任者としては大人が6名でした。玉穂支所を出発して大菩薩峠を経由し、現地の丹波山のキャンプ場へは約1時間40分かかりました。長時間のバス旅にも拘らず、全員元気にバスを下車し、約10分の徒歩にてキャンプ場に到着しました。バンガローへの班分けなどは事前に決めておいたこともありスムーズにできました。

全体的には、事前に持たせた「キャンプのしおり」どおりに進行できたが、反省点もありました。やはりジュニア・リーダー会として、高学年の「リーダー」になる存在がいなかったのが悔やまれました。引率した望月会長の話や折角遠いキャンプ場まで駆けつけてくれた市長さんや教育長さんの話を聞く姿勢があまり芳しくなかったのが今後の反省点として残りました。



参加者の多くが低学年であり、中学生以上の参加が部活動等の関係で参加がなかったのも全体のまとまりに欠けた要因であったことは否めません。今後は、リーダーを何人か決めておき、単なる遊びではなく、お互いの親睦を深めながら尚且つ、「意義のあるキャンプ」の実施を検討したいです。

ドッジボール大会



令和元年度、第7回ドッジボール大会が実施されました。参加自治会19、23チーム総勢233名の参加者がありました。会場は豊富小学校の体育館（高学年）と、豊富トレーニングセンター（低学年）の2会場を使い真夏の暑さをもとせせず、参加した選手たちは館内のコートを走り回っていました。対戦が進むにつれて選手も応援する保護者も熱が入り、会場内がとても盛り上がりました。

参加した選手達は、熱中症に罹ることもなく無事に大会を終了することができました。ジュニア・リーダー会が発足する前は、大会の進行などを全て大人が進行していましたが、ジュニア・リーダーが大会を進行するようになってから、会場内がとても良い雰囲気の中で、次第に沿ってスムーズに流れたのは大変な収穫でした。

今後も様々なところで中央市ジュニア・リーダー会を紹介していきたいです。



市川三郷町

市川三郷町の子どもクラブ

本町は、旧町（三珠・市川大門・六郷）地区ごとに活動の組織が異なり、いわゆる「子どもクラブ」があるのは三珠地区だけです。

市川大門地区と六郷地区は、育成会が子どもクラブの活動を担っており、県子連・全国子ども安全共済会に加入しています。

三珠地区子どもクラブはジュニアリーダー等の自治的な活動はなく、保護者の中で毎年改選される役員が中心となって指導しています。町子連役員は、子どもクラブがある三珠地区子連役員が兼務しています。

各単位子どもクラブ・育成会が参加する町全体の事業としては、町民会議主催・町子連後援の「市川三郷町子ども親睦球技大会」（グラウンドゴルフ）があり、旧3町が合併して市川三郷町が誕生した年から行われています。

この大会は一昨年度までは夏休み中に行っていましたが、「命に危険を及ぼすほどの猛暑」を避けるため、昨年度は夏休みに「町子どもオセロ大会」を新たに企画し、球技大会は冷涼な秋に移しました。もう一つの課題であった参加者の減少傾向に対しては、1チーム6名だった人数を昨年度は5～8名とし、チームを編成しやすいように幅を持たせました。

昨年度の「第14回市川三郷町子ども親睦球技大会」は、秋空に恵まれた11月10日（日）に、前回より多い参加チーム・人数が市川大門総合グラウンドに集まり、歓声を上げたり励まし合ったりして、和やかに競い合いました。競技終了後は、成績の集計時間を利用してホールインワン大会を楽しみました。

表彰式では、優勝チームに町長杯が授与され、団体・個人戦ともに3位まで賞状と賞品、個人の4・5位とホールインワン賞に賞品が贈られました。また、その他の選手にも、特別賞として各種の賞が贈られました。



県子連ホームページ開設のお知らせ

昨年(令和2年)10月にホームページを開設しました。

年間スケジュールや活動報告、その他お役立ち情報も随時更新していく予定です。

ぜひ、ご覧いただき、スマホやパソコンにブックマークをお願いいたします。

また、未加入のお知り合いの方に、子どもクラブのことをもっと知ってもらうためのツールとしてもご活用ください。

山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会



トピックス

新型コロナウイルス対応ガイドライン

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より当協議会の活動につきましてご指導ご鞭撻を賜り心より感謝申し上げます。

◆ さらに詳しく

インフォメーション

- 2020.10.06 **トピックス** 令和2年度 第2回県子連理事・運営委員会開催
- 2020.09.03 **トピックス** 加入促進デラシ

全子連からのお知らせ

- 2021.03.01 **関係団体ニュース** 青少年のインターネット利用に係る保護者向け普及啓発リーフレットのご案内です
- 2021.02.25 **お知らせ** 自転車保険ネット申し込み受付中
- 2021.02.03 **お知らせ** 令和3年度「児童福祉週間」の標語が決定しました
- 2021.01.26 **お知らせ** 新型コロナウイルス禍における子ども会活動について
- 2021.01.19 **トピックス** パケツ縮づくりセット先着順！先行予約開始！！-2021-

検索

安全共済会
安全共済会の標記は
こちらから!

**年間
スケジュール**

行事報告

<https://www.kodomo-kai.or.jp/yamanashi/>

山梨県子ども会

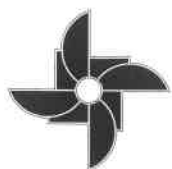
検索



令和2年度 県子連安全会加入状況表

令和3年2月28日現在

市町名	クラブ数	幼 児	小学生	中学生	高校生	指導・育成者	合 計
甲 府 市	338	1,411	5,975	3,008	419	3,860	14,673
山 梨 市	46	39	1,231	676	0	485	2,431
韮 崎 市	42	127	580	314	0	481	1,502
北 杜 市	136	135	1,467	787	29	1,073	3,491
甲 斐 市	93	291	3,627	1,658	128	1,141	6,845
甲 州 市	17	4	353	214	0	85	656
中 央 市	59	216	1,236	601	8	513	2,574
市川三郷町	30	35	313	247	3	350	948
南 部 町	17	11	186	121	0	91	409
昭 和 町	12	5	1,296	129	0	233	1,663
富士河口湖町	8	8	309	70	0	46	433
身 延 町 八日市場育成会	1	0	11	5	0	2	18
南ア市小笠原 2丁目子どもクラブ	1	0	11	1	0	9	21
南ア市上今井 子どもクラブ	1	0	31	14	0	16	61
南ア市古市場 子どもクラブ	1	16	58	21	0	88	183
南ア市飯野支部 育 成 会	1	11	183	89	1	188	472
南ア市曲輪田 子どもクラブ	1	0	37	39	0	10	86
県 子 連	1	0	0	0	0	9	9
合 計	805	2,309	16,904	7,994	588	8,680	36,475



伸ばそう 生かそう 子どもの力

この「ざくろ」の作成費用の一部は、赤い羽根共同募金配分金により発行されています。